

宜野湾高校の生徒達へ（37）

2020.8.18

以下は、8月17日の出校日に本校1・2年生に話した内容です。大切な内容を含んでいるので、学校HPに載せることにしました。

今から3ヶ月前も休校でした。1・2年生はまだ入学式・始業式も行われていませんでした。そんな中、**クラス別登校（5月11日の週）**があり、その時私は「**夏以降にコロナ再流行の恐れ 冬に大きな山も 不確実な未来に耐えよう！**」の新聞記事を紹介しました。それが手元にある資料の『宜野湾高校の生徒達へ(36)』の真ん中の写真のある部分です。その時に話した内容は「**感染拡大予防策の徹底**」と「**自ら学ぶ姿勢の大切さ**」についてでした。その内容については後で確認して下さい。

「**不確実な未来**」に備える心構えとしては、4月27日に出した『宜野湾高校の生徒達へ(4)』で松井秀喜氏の「**不動心**」（強く動じない心、**マイナスをプラスにすることができる力**）を紹介しました。これについても手元資料の上の松井氏の写真の部分の後で読んで確認して下さい。

5月27・28日の『宜野湾高校の生徒達へ(15)(16)』では、**全国高校総体や夏の甲子園中止**を受け、2人の指導者からのメッセージ、「**真剣さを失わず、諦めるな！**」・「**苦しい時ほど人間は試される。こっからが出発点だ。気持ちを切り替えていこう！**」を取り上げました。**3年生は、気持ちを切り替えて、今、前に進んでいます。**

皆さんは、休校・分散登校、課題の取組にしっかりと対応してきました。これは自信を持っていいし、校長としても皆さんを誇りに思います。

1週間前の8月9日の『宜野湾高校の生徒達へ(34)』では「**新型コロナウイルスは誰でも感染しうる**」という専門家の指摘を紹介し、翌日の『宜野湾高校の生徒達へ(35)』では、渡辺賢司氏（東日本大震災で卒業式が中止になった際に卒業生にメッセージを送った校長）の「**目の前の人にやさしさを向けよ**」、「**想像力を働かせ、病気になってしまった人がどんなに苦しんでいるかに思いをめぐらせよう**」のメッセージを紹介しました。

今後も、休校の可能性はあります。「冬に大きな山が来る」可能性があります。これから「**断続的に休校**」になると、弱気になることや不安になることもあるでしょう。そんな時は、互いに声を掛け合い、励まし合いましょう！「**一致団結 未来に繋ぐ G1 魂！**」です

皆さんは、これからコロナ世代と呼ばれることになるかもしれません。その時にコロナを乗り越えた世代、**どんな困難にも対応できる強靱な精神力を持った世代**だったと言われるよう、先ほど紹介した松井氏の「**不動心**」をもって、この困難を共に乗り越えていきましょう！

沖縄県立宜野湾高等学校長 津留一郎